

自然系ジュニア学芸員2015年の実習活動(1)



写真1 収蔵室の温度湿度管理

標本を高湿度によるカビ等から守るために、毎日温度と相対湿度を測定して記録をし、異常がないかをチェックする。



写真2 ツルグレン装置用土壌の管理

2階常設展示で肉眼では観察しにくい土壌生物を展示するため、土壌を耕して、ダニなどの土壌生物が、落葉落枝を分解して増えるようにする。



写真3 きのご標本の調査・整理

第3収蔵室に収集して仮置きしているきのご標本の標本情報と標本ラベルを照らし合わせていき、きのご標本のデータベースを作る準備。



写真4 桜山公園でみられる野鳥の展示替え

姫路市自然観察の森とのコラボ展示「いま桜山公園で見られる野鳥」。月替わりで4種の野鳥を展示解説しており、その本はく製と展示解説の交換。



写真5 コケ調査

科学館周辺のコケ類の調査。必要最小限のコケを採集して、持ち帰ってルーペや実体顕微鏡で詳しく見て図鑑と照らし合わせて同定していく。



写真6 食虫植物を解説する自然のお話会

自宅で食虫植物を栽培し、調査研究のテーマにしている講座生が自然のお話会で食虫植物について、実物を持参して分かりやすく解説した。

自然系ジュニア学芸員2015年の実習活動(2)



写真7 淡水カメ学の講義

科学館2階バックヤードにある研究室で、現場で淡水ガメ調査・外来生物駆除にあたっている専門家から、より実践的な内容の座学講義を受講。



写真8 淡水ガメ捕獲用もんどりの設置

科学館前のため池の上池にはミシシッピーアカミミガメが多数生息。どんな種がいるか採集調査するためにもんどりを設置しているところ。



写真9 淡水ガメ捕獲用もんどりの回収

仕掛けたもんどりを講座生同士が協力して引き上げて、かかったカメを、噛まれないようにバケツに入れて、研究室に持って行く。



写真10 ミシシッピーアカミミガメの測定

実習はバディを組んで分かれて行う。各バディが協力して、採集したミシシッピーアカミミガメやクサガメの大きさや重さを測定する。



写真11 ミシシッピーアカミミガメの測定

ノギスで小型のミシシッピーアカミミガメの甲羅のサイズを測定しているバディ。小さなミシシッピーアカミミガメも多く、池で繁殖している模様。

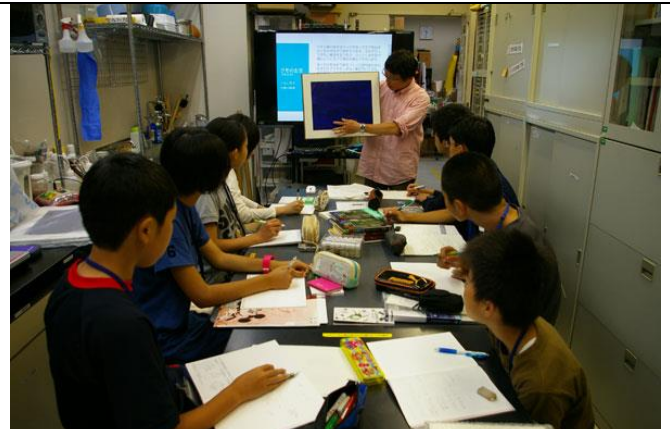


写真12 クモ学の講義

クモを専門分野とする講師をお招きし、クモの巢標本を用いて、クモ類の分類や特徴について座学の講義のメモを取りながら受講しているところ。

自然系ジュニア学芸員 2015年の実習活動（3）



写真13 クモ類の採集

講座生がバディを組んで、科学館周辺の雑木林の様々な環境に応じた方法で、クモ類を採集する。枯葉などにいる歩行性クモを採集中。



写真14 クモ類の液浸標本作成

採集してきたクモを図鑑などで種を同定し、採集情報をラベルに記入して、エタノールでクモを液浸標本にする。標本が自然の記録となる。



写真15 科学館周辺のクモ類の自然のお話会

クモの講義、採集、同定、標本作成を通じて、クモの魅力や多様性について、自然のお話会で当日採集したクモ実物や標本を紹介して解説。



写真16 「煮干しの解剖教室」自然のお話会

魚類に興味を持つ講座生が、魚類に関するテーマで解説をしたいということで、煮干しを手で解剖していき、魚の体の仕組みについて解説した。



写真17 科学の屋台村での「生きもの切り絵」

7月の夏休み最初の土日に行われる科学の屋台村では、講座生たちで「生きもの切り絵」のブースを出し、運営方法や指導方法を実践して学ぶ。



写真18 科学の屋台村での「生きもの切り絵」

「生きもの切り絵」ブースへの参加者の年齢や技術に応じ、講座生が分かりやすく指導する。このために事前に切り絵の練習など準備を重ねた。

自然系ジュニア学芸員 2015年の実習活動（4）



写真19 FM ゲンキに出演して講座の活動報告

平日の昼間に FM ゲンキが生放送している「飛び出せ街の元気人」へ、夏休み中の平日に出演。講座について講座生が色々とPRをした。



写真20 野外で播磨の夏のきのこ調査

地域のきのこ専門家を講師に招き、播磨の夏のきのこの観察方法・撮影方法について座学で講義を受け、フィールドで調査・撮影・採集をした。



写真21 採集してきたきのこを図鑑で同定

採集してきたきのこをルーペなどで詳細に観察し、図鑑や講師の助言を手掛かりに、バディで相談しながら種の同定をする。



写真22 採集したきのこを温風乾燥標本へ

採集し同定し終わったきのこサンプルを、ドライフルーツメーカーを利用して、温風乾燥標本を作成する。標本ラベルを忘れずに貼り付ける。



写真23 自然のお話会での実習報告会

自然のお話会で、当日のきのこ調査・実習の成果を、分かりやすく面白く紹介・発表する。夏の播磨のきのこ実物を来館者に体感してもらう。



写真24 鳥の仮はく製作成とからだの仕組み

バードストライクで死亡した鳥を拾って冷凍保存していたサンプルを、仮はく製にする実習。同時に鳥の体の仕組みを解剖しながら学んだ。